



## 有松まちづくりの会役員会 (1月26日)

日本遺産の認定継続を受けて、1月29日に有松日本遺産推進協議会が開かれます。今後3年間の取り組み・活動について具体的な案の検討をすることになりました。2月1日実施の「緑区フェスタ(会場：大高イオン)」で日本遺産有松と有松福よせ雛(2月21日～3月22日)の開催PRをしますので、皆さんご協力を。有松未来創造株式会社の取組説明会が2月13日・14日に開かれます。2026年度の総会に向けて、3月の役員会に各担当の事業案を持ち寄ることとなりました。

## よかった! 「日本遺産」認定継続決まる (12月24日)

文化庁は12月24日、地域の文化財を観光資源として活用する「日本遺産」の認定を継続するかどうか審査中であった有松について認定継続すると発表した。

観光客入込み数や日本遺産の認知度不足等により認定継続について審査されることになったが、“地域活性化計画”の大幅修正等により認定継続が決まった。

今後は、町並み・有松絞り・山車行事を生かした文化観光のビジョンの検討を官民一体で推進することや、有松の観光を取りまとめる主体の創出が課題とのことである。



西町;岡家住宅前の様子

## メ〜テレデスカ+☆で 詳しく解説 (1月9日)

～日本遺産の”再審査”から”認定継続”に至る経緯について、分かり

やすい解説が放映された。紙面で簡潔に紹介させていただく。～

有松まちづくりの会会長の中濱豊さんは「PR不足で有松への来場者数が少なく残念であった。今後は町並み保存だけでなく、観光客が来やすいようイベント・日本遺産PRに努めたい」と。これまでも地元では町並み案内や絞り体験の充実など工夫し、名古屋市も恋活イベントを有松で実施するなど日本遺産有松のPRを進めてきた。広沢一郎市長は年頭の記者会見で「3年後に”再審査”が行われる。有松と連携を強めるため、新たな推進組織を作るべく準備を進めている」と。また、市の担当者は「地域の皆様や民間事業者とこれまで以上に連携し、ワンチームで有松を盛り上げたい」と語っていた。



有松まちづくりの会会長 中濱豊さん



## 有松あないびとの会総会(1月20日)於:ふじ寿司

会員45名中、出席31名。その半数は午前中に足助小案内。疲れた顔を見せず和気あいあいと会は進行です。加藤明美会長が「これからも仲間を大切にしていきたい」と。会の雰囲気をよく言い表しています。2025年度活動報告・収支決算に続き2026年度活動計画案・収支予算案が承認された。新幹事に木下宏之・鈴木照美両氏を選出。





# 特集 有松天満社 新年に向けて

天満社北口に、右写真の横断幕が掲げられていた。



## ● 準備は大変！

菅原美佳作品①

大晦日午前中、西村総代長始め講員20名程がテント張りや説明板設置に忙しく働いていた。横断幕同様、菅原さんの筆が中の広場を埋め尽くしていた。今年注目すべき出し物は4点(川勝尚子さん談)。



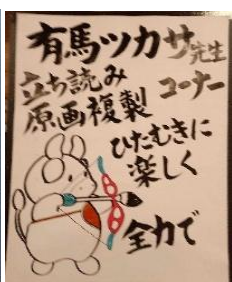
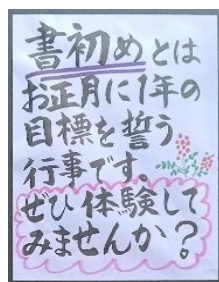
①にじもっちのお出迎え ②書初め体験 ③漫画家有馬ツカサコーナー

④愛知高校優勝動画上映(愛知県高等学校総合文化祭県大会優勝)

## ◆ 迎春カウントダウンでは (12月31日)

23:40、参道に着いた時には下の広場までの長蛇の列。ご家族や友人同士、話に花が咲いていた。中の広場では、"にじもっち"がお出迎え。牛の着ぐるみに頭を撫でてもらう人が少なくない。テントの一つ有馬ツカサコーナーに足を止める人も。甘酒で体を温めている人、焚火に手をかざしている人、思い思いに過ごされている。

一番人気はおみくじ。10m程の列ができていた。特に"恋みくじ"を求める人が多かったようだ。 菅原美佳作品②



## ◆ 初詣・元旦祭では (1月1日)

11:30、下の階段まで行列ができていた。昨夜に比べ年配者や子連れの方が多い。その為か次々と奉納書初めに親子が訪れる。お鈴払いに目をやると、巫女さん役を男子大学生(梅津怜旺君)が務めていた。これも時代の流れか。てきぱきとした動作に、お祓いを受ける方が続く。穏やかな日差しの中、天満社が有松の人達に愛されていることが伝わってくるひと時でもあった。



## 左義長

(1月14日)

於:【東町】東町秋葉神社 8時～ / 【天満社】中の広場 9時～

右写真は中の広場での一コマ。近隣マックスバリュの店長さん達が古札を燃やすのに忙しい。「昨年の倍集まった」と。天満社全体で大袋20個を燃やす。作業する講員のお父さんとお手伝いのお嬢さん、ほのぼのとした気分になる。途中近隣の園児30名程が伝統行事に触れようと見学に訪れていた。



## 有松天満社文嶺講総会 (1月18日) 於:中町年行司

令和8年度、新役員が決まりました。以下の通りです。

総代長 藤井寛之 副総代長 鋤柄哲雄 横井清明 梅津康一

相談役 西村明敏

なお、令和8年度・9年度の山車会館運営は有松天満社文嶺講が行います。

中町年行司前での様子(去年の秋季大祭)





## 尾張万歳がやってきた (1月4日)

今年も1月4日に、今枝社中の皆さんが有松に来了。門付けのスタート寿限無茶屋には"推し"の方20名程が11時の来店を待っていた。店内で楽曲を賑やかに奏でた後は家庭やお店を回る。東町から1号線近くまで、Uターンして中町・西町に向かう。今年は長坂道沿いしぼりの久田本店まで足を延ばす。茶室にも案内されてご満悦。終了は15時になったが、奥田さんなど初めてのお宅数軒に"千社札"を貼ることができた。又町行く人や訪れたお店で記念撮影をすることもできた。

門付けに同行させていただき、有松に笑いだけでない何かをもたらしてくれたようだ。推しの方が「留守宅にも深々と頭を下げる姿に惹かれて」の言葉が少し分かった。

なお、今回は有松が重伝建に選定されて10年経った事を祝して津軽三味線奏者鈴木臣吾さんも同行されていました。



奥田さん宅



Amitie アミティエにて

## NHKぐるっと！△ラブ旅で有松紹介 (1月7日)

気象予報士の寺尾直樹氏を有松あないびとの会の加藤明美さんがご案内。西町の岡家住宅近くでは、広重が有松を描いた浮世絵(名物有松絞:保永堂版)さながらの風景を目の当たりにして江戸時代にタイムスリップしているようでした。また絞会館では、絞り実演を見学され、高齢の実演者(高橋瞳さん)が「60歳から絞り教室に入って」学んだとの話に驚かれていました。県絞工業組合による後継者育成事業が実を結んでいる事を知る機会ともなりました。



## 学びの冬

「有松プレミアム体験きっぷ」実施工房を訪問。

### ▶ 体験きっぷ③ 彩 Aya Irodori (取材日1月12日)

体験したのは古山あきさん(知多市)と経塚陽子さん(名古屋市)。着物が好きで絞りにも興味津々。薄くて柔らかい知多木綿(45cm×180cm)を使い、手筋絞りをして染色します。まずタブレットで図案を決め、次に絞ります。生地を幾十本かの筋目を立て絞り上げるのが手筋絞り。指先で生地を筋を折り畳み、端を絞台に固定して固く巻き下げる。染色して完成。記念写真での表情から"大満足"が伝わってきます。丁寧な教えと椅子に座って作業できる絞台を自作されるなど店側の工夫も素晴らしい。「着物で動きやすい4月にもイベントを。スタンプラリーなど有松で滞在時間を増やす工夫を」との声をいただく。



## ようこそアリマツへ

足助小学校 (1月20日) 1年から6年までの児童64名(引率13名)が8班に分かれて活動。縦割りで上級生の面倒見がよい。事前学習も十分で、案内のあないびとの説明をしっかりと聞くと共に、質問にもよく答える。山車会館では、からくり人形の操作に歓喜の声。中には、足助の山車について紹介してくれる子もいた。雪花絞りの体験では、一生懸命に生地を三角形に折り畳んでいた。染色して模様が現れると、どの子にも満面の笑み。





私は生涯学習センターの講座「有松の町並み探訪」の受講をきっかけに有松あないびとの会のメンバーになり、多岐にわたって有松について学ぶ機会をいただき今日に至ります。

有松の町並み案内を通して日常の暮らしだけでは出会えなかった方々とお会いすることは、私にとって大切な時間となっていました。以前、ご出身が徳島県の方をご案内させていただいた折、有松の藍甕を見ながら故郷の藍の話を聞かせてくださったことがありました。お話しする中で新たな視点で有松の魅力に気づかされることも多く、心が高鳴ります。"来てよかった""今度は友人を誘ってお祭りに来ます"と笑顔で言うときは励みになります。これからも皆さんから有松の推しを伺いながら、ご希望に沿ってご案内できるよう心がけていきたいです。

有松のすばらしい宝物を次の世代に繋げたい思いで、小学生のご案内もしています。実際にグループに分かれて有松を歩いてみると、子どもたちは町並みで発見する一つ一つに目を輝かせて話を聞いてくれます。たくさんの質問から、有松のことを知ろうとする子どもたちの一生懸命さが感じられ身が引き締まります。

今後も、出会いを大切にしながら有松と人をつなげていけたらと思います。



町並み案内の様子(写真左が筆者)



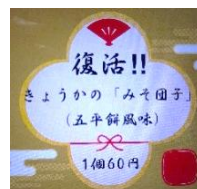
学校からの礼状

### お店紹介 駄菓子 きょうか

年末、東海道を歩いていると、㊦桝屋界隈が賑やかだ。花屋Luoreには正月飾りの花々が置かれ、隣りのMARUKIは店内外に人があふれ…外国からも…。六弦とコットンには「屋台コーヒーが飲みたくて」と来た客が…。

そんな中、駄菓子きょうかは賑わいに彩を加えているようだ。「7年前、母が10年程やっていた駄菓子屋を閉めたが、その時の子どもたちが"もう一度店を開いてよ」と。それで、昨年の絞りまつりの頃より月1・2回のペースで店を開くようにしたとのこと。

子どもの集まる店は町に活気をもたらすようだ。いつまでも駄菓子屋さんを続けて欲しいものと思った。



### 催事・行事予定

- 1月28日～2月15日 日展名古屋展2026 愛知県美術館ギャラリー  
 2月1日(日) 10:00 緑区フェスタ 大高イオン 有松まちづくりの会・有松あないびとの会  
 2月16日(月) 18:00 有松町並み相談会 有松コミセン  
 2月21日～3月22日 有松福よせ雛さんぽ道 有松東海道一帯 同実行委員会  
 2月21日・22日 11:00/13:00 福よせ雛とまち歩き(受付:岡家住宅)  
 2月22日(日) 7:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会 ↑ ↓有松福よせ雛実行委員会  
 2月23日(月) 10:30 「おこしもんって何？」講座 有松コミセン  
 2月23日(月) 18:30 有松まちづくりの会役員会 有松コミセン  
 2月27日～3月1日 10:00 まちなみ美術館

竹田家住宅・旧山田薬局・ATSUMARI・有松郵便局 NPO コンソーシアム有松

発行者 中濱 豊(有松まちづくりの会 会長)

編集者 加藤明美(有松まちづくりの会 広報部長)

pegasusb@mc.ccnw.ne.jp 取材・撮影 伊藤総俊

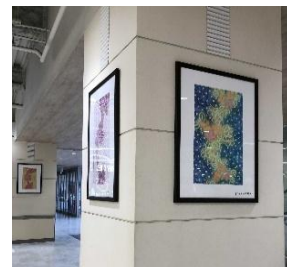
有松まちづくりの会は新規会員を募集しています。(年会費1000円)

詳しくはホームページ又はお近くの会員までお問い合わせください。

有松まちづくりの会はホームページを公開しています。「有松のまち」で検索。

「有松かわら版」をカラーでご覧いただけます。

### まちの風景



有松イオン 2階通路

井桁屋さんが寄贈さ

れた絞り柄パネル

### 《編集後記》

ここ数年、かわら版編集に携わって、確信していることがある。“有松に魅せられた人がなんと多いことか！”今、有松は次のステージに向け“脱皮の真最中”有松愛の皆さんのお力で乗り越えられないわけではない！